

JAグループ広島東日本大震災支援隊

第2班（福島県）支援活動～絆～情報

平成25年9月25日
情報No.1

農業協同組合 御中
農業協同組合連合会 御中

JAグループ広島東日本大震災復興・再建対策本部
(JA広島中央会 総務部)

支援活動状況について

活動日	平成25年9月24日（火）	天気	晴れ
活動場所	活動概要のとおり		
活動概要	<p>平成25年度JAグループ広島東日本大震災たすけあい運動第2班は、9月24日より、現地での支援活動を開始した。</p> <p>第2班の構成は、JA尾道市、JA三原、JA福山市、JA広島北部、JA三次、JA庄原、JA広島厚生連、JA全農ひろしま、JA共済連広島、基金協会、農協観光、中央会の12団体、22名である。</p> <p>活動概要は次のとおり。</p> <p>朝一番に、JA新ふくしま本店へ向かい、恒例のラジオ体操の後、菅野組合長様より「昨年からの支援隊派遣について謝意を表するとともに、今年の支援隊には東日本大震災から2年半経った農家の方々の現状を見てもらいたい。そして、今回の支援隊の活動が、多くの県民レベルへの付き合いに広がっていくことを望む」旨の挨拶をいただいた。</p>		



その後、それぞれの支援先に移動し、支援活動に取り組んだ。

(1) (株)新ふくしまファーム

(メンバー：尾道市、三原、厚生連、全農ひろしま、共済連広島、基金協会、農協観光)

新ふくしまファームでは、なすの収穫・袋詰め、キャベツと玉ねぎの種まき、大根の摘芽作業など、作業ごとに分かれて取り組んだ。

(2) 西部共選場

(メンバー：福山市、広島北部、中央会)

西部共選場では、20世紀梨の選果箱詰め作業と、豊水梨の箱詰め作業を主に支援した。

特に豊水梨の箱詰め作業では、選果機から高速で流れてくる梨を次々と的確に箱詰めしていく女性陣の作業が滞らないよう、ダンボール箱、中敷きの準備、詰め終わった箱の移動と後方支援に取り組んだが、これが思いのほか重労働であった。



(3) 庭坂共選場

(メンバー：三次、庄原、中央会)

庭坂共選場では、梨の選果箱詰め作業を行った。

作業自体は、特別なものではなかったが、先日が休みだったため、大量の梨の出荷があり、その選果作業は一向に終わる気配がなかった。

そのため、選果作業の完了を待たず、16時過ぎで1日目の支援隊活動は終了となり、悔しさの残る支援隊活動初日となった。



明日は、この悔しさを取り返すべく、新ふくしまファームと共選場のメンバーを入れ換え、心機一転支援隊活動に取り組んでいく。